

墨田区（報道）

平成 30 年 11 月 8 日 田中

～自分を信じる心をもてば何でもできるんだ！～

言問小学校でパラ・パワーリフティング日本記録保持者の三浦浩選手が講演！

本日、パラリンピック・パワーリフティング 49kg 級で日本記録保持者の三浦浩選手が、墨田区立言問小学校(向島 5 - 40 - 14 校長：山田 俊郎)で、講演会を行った。本小学校は平成 30 年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校に認定されており、今回の講演会はオリンピック・パラリンピック教育の一環として実施したもの。

午前 8 時 45 分、子どもたちの大歓声の中、三浦選手が入場して講演会がスタート。三浦選手は自身の生い立ちや、ケガを乗り越えてパワーリフティング選手になるまでの経緯などを話した。講演の中で三浦選手は「自分を信じる心を持てば何でもできるんだ。」と話し、参加した児童約 240 名は熱心に耳を傾けていた。その後、児童たちにパラリンピックについての理解を深めてもらおうと、自身が出場した 2016 リオパラリンピック大会の試合を見てもらったり、現在パラリンピックで活躍している選手について紹介したりした。

講演を終えると、全校生徒が実際に競技用バーを使用してパワーリフティングを体験。児童たちは三浦選手にサポートしてもらいながら 20kg の競技用バーを持ち上げた。体験を終えると最後に児童たちから三浦選手へ花束を贈呈し、午前 10 時 50 分に終了。

講演に参加した児童は「三浦選手のどんなことにもあきらめない強い心を持って欲しいという言葉に感動した。墨田区出身の選手として 2020 年パラリンピックも頑張りたい。」と話していた。



<墨田区のオリンピック・パラリンピック教育について>

墨田区立幼稚園・小・中学校の子どもがスポーツにより心身の調和的な発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善などその果たす役割を正しく理解し、我が国と世界の歴史・文化・習慣などを学び交流することを通じて国際理解を深めることを目的に実施している。

主に、学校にオリンピック・パラリンピアン、アスリートやスポーツ指導者を招き、子どもとの直接的な交流を行ったり、“おもてなし”を通じて多様な文化や特徴を受け入れる考えについて育んだりする授業を行っている。

《写真》 ～ 三浦選手と子どもたちの様子

《問合せ》言問小学校 3625-0315

お問い合わせは午後 5 時までをお願いします。

三浦 浩さん 経歴

○生年月日：1964年10月14日

○出身地：墨田区（第三吾孺小学校・寺島中学校）

※現在も墨田区在住

○所属：東京ビッグサイト

○主な競技歴（ホームページ抜粋）

2016年 リオパラリンピック パワーリフティング 5位入賞

2015年 IPCアジアパワーリフティング選手権大会49kg級 4位

IPF世界マスターズベンチプレス選手権大会 優勝

全日本障害者パワーリフティング選手権大会49kg級 優勝

2012年 ロンドンパラリンピック パワーリフティング 9位

*2002年 コンサート器材搬出中に重量物が倒れた事故により脊髄損傷